

- 1 聖徳太子が中心となって栄えた、最初の本格的な仏教文化を何という？
- 2 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？
- 3 推古天皇のもとで聖徳太子が、才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 4 672年に天智天皇の死後、後継をめぐる起きた内乱を何という？
- 5 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 6 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
- 7 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
- 8 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？
- 9 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 10 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？
- 11 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 12 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
- 13 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 14 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 15 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？
- 16 667年、中大兄皇子が都を移した場所は？
- 17 聖徳太子や蘇我氏を中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？
- 18 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？
- 19 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？
- 20 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？
- 21 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？
- 22 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？
- 23 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？
- 24 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？
- 25 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>飛鳥文化</u> は、法隆寺などの寺院建築や、釈迦三尊像のような仏像に見られる彫刻に特徴があります。		<u>飛鳥文化</u>	☐
2	<u>中央集権国家</u> とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。		<u>中央集権国家</u>	☐
3	603年に制定されました。		<u>冠位十二階</u>	☐
4	672年に勃発したこの内乱は「 <u>壬申の乱</u> 」と呼ばれます。		<u>壬申の乱</u>	☐
5	<u>渡来人</u> は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。		<u>渡来人</u>	☐
6	「 <u>公地公民</u> 」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。		<u>公地公民</u>	☐
7	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「 <u>中央集権</u> 」です。		<u>中央集権</u>	☐
8	670年（庚午の年）に作成された「 <u>庚午年籍</u> 」は、日本で初めて全国規模で作成された戸籍です。		<u>庚午年籍</u>	☐
9	<u>聖德太子</u> は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。		<u>聖德太子</u>	☐
10	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。		<u>白村江の戦い</u>	☐
11	<u>聖德太子</u> は、推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を敬う思想を広めました。		<u>聖德太子</u>	☐
12	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を <u>律令制度</u> といいます。		<u>律令制度</u>	☐
13	<u>大海人皇子</u> は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。		<u>大海人皇子</u>	☐
14	<u>律令制度</u> とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。		<u>律令制度</u>	☐
15	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「 <u>大化の改新</u> 」を開始しました。		<u>大化の改新</u>	☐
16			<u>大津宮</u>	☐
17	仏教文化は、聖德太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。		<u>飛鳥文化</u>	☐
18	<u>聖德太子</u> は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。		<u>聖德太子</u>	☐
19	釈迦三尊像に見られる「 <u>左右対称</u> 」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。		<u>左右対称</u>	☐
20	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「 <u>防人</u> 」を配置して警備を強化しました。		<u>防人</u>	☐
21	604年に聖德太子によって制定された「 <u>十七条の憲法</u> 」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。		<u>十七条の憲法</u>	☐
22	604年に制定された <u>十七条の憲法</u> は、仏教や儒教の考え方を基盤に、役人が守るべき心構えを説いたものです。		<u>十七条の憲法</u>	☐
23	<u>小野妹子</u> は、聖德太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。		<u>小野妹子</u>	☐
24	<u>法隆寺</u> は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖德太子が建立したと伝わります。		<u>法隆寺</u>	☐
25	<u>奈良県</u> には法隆寺のほか、飛鳥寺や山田寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。		<u>奈良県</u>	☐

言えなかった用語ノート